



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社 ピエトロ  
コード番号 2818 URL <https://www.pietro.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 泰行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・IR部長 (氏名) 森山 勇二

TEL 092-724-4925

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,653	9.8	111	20.5	110	21.2	38	55.2
2020年3月期第1四半期	2,416	5.9	140	32.4	139	32.4	85	33.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 38百万円 ( 50.9%) 2020年3月期第1四半期 78百万円 ( 41.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	6.24	
2020年3月期第1四半期	13.99	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	9,302	5,322	57.2	872.78
2020年3月期	8,886	5,412	60.9	887.46

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 5,322百万円 2020年3月期 5,412百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		21.00	21.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大が業績に与える影響を現時点において合理的に見積もることが困難であることから未定としております。今後、合理的に見積もることが可能となった時点で、速やかに開示いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	6,257,230 株	2020年3月期	6,257,230 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	158,691 株	2020年3月期	158,691 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	6,098,539 株	2020年3月期1Q	6,074,861 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内外の経済活動が強く制限される等、非常に厳しい状況となりました。

緊急事態宣言解除により国内の経済活動も再開しましたが、第2波、第3波の懸念もあり、景気の先行きについては極めて不透明な状況が続いています。

食品業界では家庭での内食需要の高まりが見込まれる一方、外食業界におきましては、外出自粛による影響が大きく、引き続き経営環境は厳しいものとなりました。

このような状況のもと、当社グループは、変化する市場環境に柔軟に対応できるよう、ブランド力と商品開発力の強みを活かし、他社には真似できない商品づくりを行うことにより、さらなるブランド価値向上に努めてまいりました。

食品事業では商品価値訴求を目指す売り方改革や、パスタ関連カテゴリー商品のさらなる配荷拡大、レストラン事業では新型コロナウイルス感染防止への対策を行いながら、テイクアウトメニューの充実や、サービス研修の強化を行ってまいりました。内食需要の高まりで食品事業の売上が大きく増加しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や、例年は年間を通して行うテレビCMの放映を4月上旬に集中的に行い、広告宣伝費の先行投資を行ったこと等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は26億53百万円(前年同期比9.8%増)、営業利益は1億11百万円(前年同期比20.5%減)、経常利益は1億10百万円(前年同期比21.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、感染症関連損失を計上したこと等により、38百万円(前年同期比55.2%減)となりました。なお、テレビCM等の広告宣伝費につきましては通期の総額では前期を下回る計画としています。

セグメントの経営成績は、次のとおりです。

#### ①食品事業

今期の経営方針である「商品価値訴求を目指す売り方改革」「第二の柱・パスタ関連カテゴリー商品のさらなる成長」「第三の柱・スープカテゴリーの育成」のもと新たな販売方法の確立を行い、積極的な売上拡大を図ってまいりました。

緊急事態宣言下におきましても、ドレッシングカテゴリー及びパスタ関連カテゴリーともに好調に推移しましたが、特にパスタ関連カテゴリーの売上に関しては、前期からの営業施策の効果に加え、外出自粛等による内食需要の高まりや、4月上旬にテレビCMの集中放映を行ったこと等により、前年同期を大きく上回りました。また素材とおいしさにこだわったプレミアム冷凍パスタの販売につきましても好調に推移しています。

ドレッシングカテゴリーでは、3月に健康志向(減塩)の「ピエトロドレッシング ライト」を発売いたしました。消費者ニーズに合わせた商品戦略により、順調に配荷先を広げています。前期の価格引上げの効果もあり、定番の和風しょうゆをはじめとする主力のドレッシングの売上は、前年同期比106.7%となりました。

育成事業であるスープカテゴリーでは、3月に「PIETRO A DAY SOUPSHOP&CAFE 横浜ベイクォーター店」をオープンいたしました。新規ショップの出店をとおして、認知度アップを図るとともに、ギフト需要等の取り込みにも努めてまいります。

また通信販売では、オンライン強化を図ったこと等により順調に売上を伸ばすことができました。

以上の結果、セグメント売上高は23億91百万円(前年同期比34.6%増)、セグメント利益は7億61百万円(前年同期比55.8%増)となりました。

#### ②レストラン事業

レストラン事業では、新型コロナウイルス感染症の予防を徹底し、お客様と従業員の安全を第一に考え、全従業員へのマスク着用、検温の徹底、ご来店されたお客様にもアルコール除菌のご協力を頂くとともに、テーブルやメニューの消毒等、衛生管理の強化を行ってまいりました。さらに、テーブルの間隔を広げて客数を減らす等、三密防止への取り組みを行い、感染防止策を店内外で重点的に実施し営業を行ってまいりました。5月には1ヶ月遅れでの出店になりましたが、収益性改善に重点をおいた新業態「PASTA&TAPAS PIETRO 豊洲店」の出店も行いました。また、テイクアウトや店頭での物販強化等も行ってまいりましたが、休業要請による店舗休業や営業時間の短縮等、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は大きく、売上、利益ともに大きく減少しました。

以上の結果、セグメント売上高は2億20百万円(前年同期比63.3%減)、セグメント損失は1億14百万円(前年同期は7百万円の損失)となりました。

③その他(本社ビル等の賃貸)事業

その他(本社ビル等の賃貸等)事業におきましては、売上高は42百万円(前年同期比1.8%増)セグメント利益は23百万円(前年同期比33.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億16百万円増加し93億2百万円となりました。これは主に売掛金が1億58百万円、有形固定資産(純額)が2億65百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ5億6百万円増加し39億80百万円となりました。これは主に未払法人税等が1億1百万円減少する一方、長期借入金(1年内含む)が5億55百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ89百万円減少し53億22百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億28百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益38百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、企業活動の停滞や企業の事業環境変化に伴う設備投資への影響が不確定であるため、現時点で合理的に算定することが困難であることから、引き続き未定としております。

今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,692,553	1,694,316
預け金	21,737	16,938
売掛金	1,292,235	1,451,003
商品及び製品	147,713	160,207
仕掛品	3,962	6,169
原材料及び貯蔵品	107,969	126,002
その他	168,238	150,401
貸倒引当金	△110	△54
流動資産合計	3,434,300	3,604,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,001,587	2,146,698
土地	2,018,342	2,166,206
その他(純額)	653,834	626,111
有形固定資産合計	4,673,763	4,939,015
無形固定資産	165,854	155,910
投資その他の資産		
敷金及び保証金	372,479	366,321
保険積立金	91,375	91,375
その他	168,030	164,928
貸倒引当金	△19,760	△19,729
投資その他の資産合計	612,125	602,895
固定資産合計	5,451,744	5,697,821
資産合計	8,886,044	9,302,807

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	407,096	421,415
短期借入金	1,350,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	101,554	211,552
未払金	515,900	481,333
未払法人税等	141,177	39,854
賞与引当金	49,453	29,584
その他	236,704	333,464
流動負債合計	2,801,887	2,867,204
固定負債		
長期借入金	52,818	498,254
リース債務	180,424	169,035
長期未払金	158,593	158,593
退職給付に係る負債	108,912	112,078
資産除去債務	77,371	78,456
その他	93,817	96,522
固定負債合計	671,937	1,112,939
負債合計	3,473,824	3,980,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,042,389	1,042,389
資本剰余金	1,074,635	1,074,635
利益剰余金	3,567,212	3,477,204
自己株式	△263,565	△263,565
株主資本合計	5,420,673	5,330,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,900	△1,174
為替換算調整勘定	△6,565	△6,832
その他の包括利益累計額合計	△8,466	△8,007
非支配株主持分	13	6
純資産合計	5,412,220	5,322,663
負債純資産合計	8,886,044	9,302,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,416,760	2,653,886
売上原価	948,099	1,059,839
売上総利益	1,468,660	1,594,046
販売費及び一般管理費	1,327,859	1,482,055
営業利益	140,801	111,991
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	926	116
貸倒引当金戻入額	—	64
その他	842	1,684
営業外収益合計	1,774	1,873
営業外費用		
支払利息	1,820	1,771
為替差損	206	1,180
その他	641	642
営業外費用合計	2,668	3,594
経常利益	139,907	110,269
特別損失		
固定資産除却損	0	0
感染症関連損失	—	45,238
その他	—	953
特別損失合計	0	46,191
税金等調整前四半期純利益	139,907	64,077
法人税、住民税及び事業税	45,882	18,262
法人税等調整額	9,011	7,763
法人税等合計	54,893	26,025
四半期純利益	85,014	38,052
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	85,017	38,060

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	85,014	38,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,527	726
為替換算調整勘定	△48	△266
その他の包括利益合計	△6,576	459
四半期包括利益	78,438	38,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,440	38,519
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△7



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 感染症関連損失

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

新型コロナウイルス感染症による政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、一部店舗において臨時休業を実施いたしました。当該臨時休業期間中に発生した固定費(人件費・地代家賃・減価償却費等)を「感染症関連損失」として、特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,776,230	599,039	41,489	2,416,760	—	2,416,760
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,776,230	599,039	41,489	2,416,760	—	2,416,760
セグメント利益 又は損失(△)	488,825	△7,505	17,806	499,126	△358,324	140,801

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は358,324千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,391,537	220,102	42,246	2,653,886	—	2,653,886
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,391,537	220,102	42,246	2,653,886	—	2,653,886
セグメント利益 又は損失(△)	761,379	△114,008	23,679	671,050	△559,059	111,991

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は559,059千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分

当社は、2020年7月10日開催の取締役会において、自己株式の処分(以下「本自己株式処分」又は「処分」という)を行うことについて決議いたしました。

1. 処分の概要

(1) 処分期日	2020年8月7日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 23,339株
(3) 処分価額	1株につき1,628円
(4) 処分総額	37,995,892円
(5) 処分先及びその人数並びに 処分株式の数	当社の取締役(社外取締役を除く。)6名 計23,339株
(6) その他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

2. 処分の目的及び理由

当社は、2019年5月14日開催の取締役会において、当社の社外取締役を除く取締役(以下「対象取締役」という。)に対する中長期的なインセンティブの付与及び株主価値の共有を目的として、当社の対象取締役を対象とする新たな報酬制度として、譲渡制限付株式報酬制度(以下「本制度」という。)を導入することを決議し、また、2019年6月25日開催の第34期定時株主総会において、本制度に基づき、譲渡制限付株式取得の出資財産とするための金銭報酬として、対象取締役に對して、年額60万円以内の金銭報酬債権を支給すること及び譲渡制限付き株式の譲渡制限期間として3年から20年までの間で当社の取締役会が定める期間とすることにつき、ご承認をいただいております。